

3. 変化の状況

ここでは、各群落における変化状況をみるため、全群落について第3回基礎調査結果からの変化状況を調査している、追跡調査の結果を示した。

3-1. 都道府県別変化状況

都道府県別にみた特定植物群落の変化状況は、秋田県で何らかの変化があった群落が多く（35件）、次いで山口県（34件）と宮崎県（34件）、青森県（28件）、宮城県（24件）となる（表3-1, 2）。

変化した割合でみると、栃木県で何らかの変化があった群落の割合が最も多く（38%, 23件）、次いで埼玉県（32%, 17件）、奈良県（28%, 11件）東京都（26%, 23件）となった。

具体的な変化状況をみると、「面積に著しい変化あり」は秋田県（15%, 26件）、大分県（14%, 10件）、宮崎県（13%, 22件）、千葉県（13%, 11件）で特に割合が多く、「群落構成に著しい変化あり」は栃木県（26%, 16件）、奈良県（23%, 9件）、東京都（17%, 15件）、埼玉県（17%, 9件）で多く、「個体数に著しい変化あり」は 栃木県（8%, 5件）、大分県（7%, 5件）、香川県（6%, 2件）、「群落または個体群の消滅」は栃木県（16%, 10件）、埼玉県（8%, 4件）、福井県（7%, 7件）で多かった。

都道府県別にみた変化状況の面積は、宮崎県で何らかの変化がある群落の面積15,052haと最も大きく、次いで長野県（10,858ha）、秋田県（10,415ha）、熊本県（6,858ha）となった（表3-3, 4）。これらの各県では「面積に著しい変化あり」が変化した面積の大部分を占めている。

変化した面積の割合でみると、佐賀県（57%）、宮崎県（53%）、熊本県（48%）、奈良県（36%）で何らかの変化があった面積の割合が高くなっており、このことが地方別にみた変化状況で九州の面積の割合が高いことに影響している。

佐賀県が変化した面積の割合が高い理由は、大面積の1群落（佐賀平野のノウルシ群落）が圃場整備に伴う水路改変で変化したためである。

宮崎県は1,000haを超える群落を含む22群落で照葉樹林などの森林伐採が行われたことが影響している。

熊本県では前回の面積の算出基準が不明なため、森林計画図に基づいて面積を修正したことなどが影響している。

奈良県はシカの食害による影響で「群落構成に著しい変化あり」が報告されており、大面積の大台ヶ原山原生林を含んでいることから変化した面積の割合が高くなった。

都道府県別にみた削除群落の面積は、宮崎県が666haと最も大きく、次いで宮城県（484ha）、福井県（258ha）、岩手県（230ha）、鳥取県（199ha）となっている。

宮崎県では森林伐採による削除として報告された2群落が大規模な照葉樹林であったこと、宮城県では開発により大規模な海岸林が消滅したことが影響している。福井県は削除された群落が13件と多く、スキー場の開設と森林伐採及びスギ植林という大きな面積を必要とする影響が関与している。

削除群落の件数は福井県の13件（13%）が最も多く、次いで栃木県（10件, 16%）、千

表3-1 都道府県別特定植物群落の変化状況(件数)

都道府県	面積、群落構成ともに著しい変化なし	何らかの変化あり	面積に著しい変化あり	群落構成に著しい変化あり	個体数(場合)に著しい変化あり	群落又は個体群の消滅	削除群落	未記入	調査群落数	未調査群落	群落件数
北海道								6	6	214	220
青森県	130	28	13	6	7	3	5	1	159		159
岩手県	72	18	11	5		4	4		90		90
宮城県	113	24	10	6	2	8	9	2	139	1	140
秋田県	134	35	26	9	1	5	6		169		169
山形県	82	5	1	3	1			1	88		88
福島県	100	15	8	4		3	3		115		115
茨城県	55	12	1	8	2	3	2	1	68		68
栃木県	37	23	2	16	5	10	10	1	61		61
群馬県	125	21	8	6	3	4	4		146		146
埼玉県	36	17	4	9	1	4	5		53		53
千葉県	60	22	11	4	4	4	9	4	86		86
東京都	67	23	7	15	1	1	4		90		90
神奈川県	87	11	6	2		3	3	1	99		99
新潟県	117	16		10	2	4	4		133		133
富山県	143	20	10	6	2	8	7	3	166		166
石川県	98	14	1	10	2	3	2		112		112
福井県	79	19	9	2	2	7	13		98		98
山梨県	97	19	3	4	6	6	9		116		116
長野県	77	12	7	6	4	2	1	1	90		90
岐阜県	101	15	5	2	2	6	9	2	118	1	119
静岡県	158	19	10	7	3		3	3	180		180
愛知県	83	4	1	3					87		87
三重県	80	21	4	13	4	2	5		101		101
滋賀県	129	23	8	9		9	7	2	154		154
京都府	75	5	2	1	1	1	1	3	83		83
大阪府	30	1	1				1		31		31
兵庫県	2								2	101	103
奈良県	28	11	2	9		1	1	1	40		40
和歌山県	87	18	9	6	2	3	1		105		105
鳥取県	66	5		5			5	3	74		74
島根県	162	10		8		3	2	1	173		173
岡山県	75	3		3	1			4	82		82
広島県	110	12	6	5		3	1		122	2	124
山口県	163	34	6	18	9	4	8		197		197
徳島県	80	4	1	4					84		84
香川県	31	3		1	2				34		34
愛媛県	65	8		3	4	1	1		73		73
高知県	68	10	5	3	2		1		78		78
福岡県	90	16	5	8	1	4	4		106		106
佐賀県	54	11	2	4	1	4	5		65		65
長崎県	82	14	4	2	5	3	5	6	102	1	103
熊本県	72	20	9	5	5	6	6	1	93		93
大分県	56	17	10	10	5	3	4		73		73
宮崎県	126	34	22	3	9		4	5	165		165
鹿児島県	89	5	2	1	2				94		94
沖縄県	153	5	1	2		2	2	7	165		165
全国	4,024	682	253	266	103	137	176	59	4,765	320	5,085

*「何らかの変化あり」は、「面積、群落構成ともに著しい変化なし」以外の変化状況を一括したものである。

表3-2 都道府県別特定植物群落の変化状況(件数の割合)

都道府県	面積、 著しい 変化なし	何らかの 変化あり	面積に 著しい 変化あり	群落 構成に 著しい 変化あり	個体 数(個 体群選 定の場合) に著しい 変化あり	群落 又は個 体群の 消滅	削除 群落	未 記入	調査 群落 数	未 調査 群落	群落 件数
北海道								100%	6	214	220
青森県	82%	18%	8%	4%	4%	2%	3%	1%	159		159
岩手県	80%	20%	12%	6%		4%	4%		90		90
宮城県	81%	17%	7%	4%	1%	6%	6%	1%	139	1	140
秋田県	79%	21%	15%	5%	1%	3%	4%		169		169
山形県	93%	6%	1%	3%	1%			1%	88		88
福島県	87%	13%	7%	3%		3%	3%		115		115
茨城県	81%	18%	1%	12%	3%	4%	3%	1%	68		68
栃木県	61%	38%	3%	26%	8%	16%	16%	2%	61		61
群馬県	86%	14%	5%	4%	2%	3%	3%		146		146
埼玉県	68%	32%	8%	17%	2%	8%	9%		53		53
千葉県	70%	26%	13%	5%	5%	5%	10%	5%	86		86
東京都	74%	26%	8%	17%	1%	1%	4%		90		90
神奈川県	88%	11%	6%	2%		3%	3%	1%	99		99
新潟県	88%	12%		8%	2%	3%	3%		133		133
富山県	86%	12%	6%	4%	1%	5%	4%	2%	166		166
石川県	88%	13%	1%	9%	2%	3%	2%		112		112
福井県	81%	19%	9%	2%	2%	7%	13%		98		98
山梨県	84%	16%	3%	3%	5%	5%	8%		116		116
長野県	86%	13%	8%	7%	4%	2%	1%	1%	90		90
岐阜県	86%	13%	4%	2%	2%	5%	8%	2%	118	1	119
静岡県	88%	11%	6%	4%	2%		2%	2%	180		180
愛知県	95%	5%	1%	3%					87		87
三重県	79%	21%	4%	13%	4%	2%	5%		101		101
滋賀県	84%	15%	5%	6%		6%	5%	1%	154		154
京都府	90%	6%	2%	1%	1%	1%	1%	4%	83		83
大阪府	97%	3%	3%				3%		31		31
兵庫県	100%								2	101	103
奈良県	70%	28%	5%	23%		3%	3%	3%	40		40
和歌山県	83%	17%	9%	6%	2%	3%	1%		105		105
鳥取県	89%	7%		7%			7%	4%	74		74
島根県	94%	6%		5%		2%	1%	1%	173		173
岡山県	91%	4%		4%	1%			5%	82		82
広島県	90%	10%	5%	4%		2%	1%		122	2	124
山口県	83%	17%	3%	9%	5%	2%	4%		197		197
徳島県	95%	5%	1%	5%					84		84
香川県	91%	9%		3%	6%				34		34
愛媛県	89%	11%		4%	5%	1%	1%		73		73
高知県	87%	13%	6%	4%	3%		1%		78		78
福岡県	85%	15%	5%	8%	1%	4%	4%		106		106
佐賀県	83%	17%	3%	6%	2%	6%	8%		65		65
長崎県	80%	14%	4%	2%	5%	3%	5%	6%	102	1	103
熊本県	77%	22%	10%	5%	5%	6%	6%	1%	93		93
大分県	77%	23%	14%	14%	7%	4%	5%		73		73
宮崎県	76%	21%	13%	2%	5%		2%	3%	165		165
鹿児島県	95%	5%	2%	1%	2%				94		94
沖縄県	93%	3%	1%	1%		1%	1%	4%	165		165
全国	84%	14%	5%	6%	2%	3%	4%	1%	4,765	320	5,085

*「何らかの変化あり」は、「面積、群落構成ともに著しい変化なし」以外の変化状況を一括したものである。

* 0%と記入されているものは、1%未満(件数0ではない)。

表3-3 都道府県別特定植物群落の変化状況(面積)

単位:ha

都道府県	面積、 著しい 変化なし	何らかの 変化あり	面積に 著しい 変化あり	群落 構成に 著しい 変化あり	個体 数(個 体群選 定の場合)	群落 又は個 体群の 消滅	削除 群落	未 記入	調査 群落 面積	未 調査 群落	群落 面積
北海道								66,082	66,082	312,843	378,925
青森県	14,767	381	344	24	5	8	13	0	15,148		15,148
岩手県	28,735	4,408	3,553	635		230	230		33,144		33,144
宮城県	27,594	1,031	525	111	2	394	484	8,503	37,128	908	38,036
秋田県	29,701	10,415	10,095	1,998	250	64	194		40,116		40,116
山形県	127,948	154	21	132	1		0	45	128,147		128,147
福島県	4,431	250	222	19		9	9		4,681		4,681
茨城県	3,534	1,307	87	1,209	112	11	88	40	4,881		4,881
栃木県	1,427	466	22	442	394	349	26		1,893		1,893
群馬県	23,609	174	47	91	0	36	36		23,782		23,782
埼玉県	382	82	5	32	5	42	44		465		465
千葉県	1,923	243	160	52	9	24	51	441	2,607		2,607
東京都	7,487	2,524	1,218	1,299	1	6	14		10,011		10,011
神奈川県	4,612	838	814	2		23	30	0	5,450		5,450
新潟県	3,290	379		320	51	8	8		3,668		3,668
富山県	239	19	8	10	4	11	11	40	298		298
石川県	3,039	45	1	18	2	26	25		3,084		3,084
福井県	648	282	255	5	5	18	258		930		930
山梨県	2,730	262	3	76	156	28	24		2,992		2,992
長野県	218,337	10,858	9,617	1,446	1,814	810	0	0	229,195		229,195
岐阜県	2,783	656	470	160	1	25	95	1	3,440	2	3,441
静岡県	5,671	220	43	154	23		0	2	5,893		5,893
愛知県	696	22	18	4			0		718		718
三重県	8,643	78	3	71	7	3	4		8,721		8,721
滋賀県	2,828	36	5	29		2	2	46	2,909		2,909
京都府	2,823	12	2	10			0	6	2,840		2,840
大阪府	80	0	0				0		81		81
兵庫県	11								11	1,112	1,123
奈良県	3,429	1,913	6	1,912		0	0	1	5,342		5,342
和歌山県	2,033	494	313	92	2	165	1		2,527		2,527
鳥取県	1,792	397		397			199	3	2,192		2,192
島根県	1,862	359		356		3	3		2,221		2,221
岡山県	925	4		4	1		0	18	947		947
広島県	8,810	3,793	1,150	2,642		463	1		12,603	4	12,607
山口県	3,894	137	14	27	77	21	35		4,031		4,031
徳島県	2,144	736	40	736					2,880		2,880
香川県	302	26		0	26				328		328
愛媛県	855	56		53	2	1	1		911		911
高知県	7,908	862	697	79	86		85		8,770		8,770
福岡県	2,839	868	107	889	1	23	23		3,707		3,707
佐賀県	769	1,017	1,000	15	1	1	9		1,786		1,786
長崎県	1,160	517	510	6	1	0	3	88	1,765		1,765
熊本県	7,310	6,858	6,277	504	3,240	77	77		14,169		14,169
大分県	13,935	1,211	709	1,031	176	533	83		15,146		15,146
宮崎県	11,242	15,052	14,894	1	157		666	2,300	28,593		28,593
鹿児島県	10,615	18	4	10	4				10,633		10,633
沖縄県	5,914	4		2		2	2	272	6,190		6,190
全国	615,704	69,466	53,256	17,107	6,613	3,414	2,834	77,887	763,057	314,868	1,077,925

*「何らかの変化あり」は、「面積、群落構成ともに著しい変化なし」以外の変化状況を一括したものである。

* 0と記入されているものは、1ha未満の面積(面積0ではない)。

表3-4 都道府県別特定植物群落の変化状況(面積の割合)

都道府県	面積、群落構成ともに著しい変化なし	何らかの変化あり	面積に著しい変化あり	群落構成に著しい変化あり	個体数(場合)に著しい変化あり	群落又は個体群の消滅	削除群落	未記入	調査群落面積	未調査群落	群落面積
北海道								100%	66,082	83%	378,925
青森県	97%	3%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	15,148		15,148
岩手県	87%	13%	11%	2%		1%	1%		33,144		33,144
宮城県	74%	3%	1%	0%	0%	1%	1%	23%	37,128	2%	38,036
秋田県	74%	26%	25%	5%	1%	0%	0%		40,116		40,116
山形県	100%	0%	0%	0%	0%		0%	0%	128,147		128,147
福島県	95%	5%	5%	0%		0%	0%		4,681		4,681
茨城県	72%	27%	2%	25%	2%	0%	2%	1%	4,881		4,881
栃木県	75%	25%	1%	23%	21%	18%	1%		1,893		1,893
群馬県	99%	1%	0%	0%	0%	0%	0%		23,782		23,782
埼玉県	82%	18%	1%	7%	1%	9%	10%		465		465
千葉県	74%	9%	6%	2%	0%	1%	2%	17%	2,607		2,607
東京都	75%	25%	12%	13%	0%	0%	0%		10,011		10,011
神奈川県	85%	15%	15%	0%		0%	1%	0%	5,450		5,450
新潟県	90%	10%		9%	1%	0%	0%		3,668		3,668
富山県	80%	6%	3%	3%	1%	4%	4%	13%	298		298
石川県	99%	1%	0%	1%	0%	1%	1%		3,084		3,084
福井県	70%	30%	27%	1%	1%	2%	28%		930		930
山梨県	91%	9%	0%	3%	5%	1%	1%		2,992		2,992
長野県	95%	5%	4%	1%	1%	0%	0%	0%	229,195		229,195
岐阜県	81%	19%	14%	5%	0%	1%	3%	0%	3,440	0%	3,441
静岡県	96%	4%	1%	3%	0%		0%	0%	5,893		5,893
愛知県	97%	3%	3%	1%			0%		718		718
三重県	99%	1%	0%	1%	0%	0%	0%		8,721		8,721
滋賀県	97%	1%	0%	1%		0%	0%	2%	2,909		2,909
京都府	99%	0%	0%	0%			0%	0%	2,840		2,840
大阪府	100%	0%	0%				0%		81		81
兵庫県	100%	0%					0%		11	99%	1,123
奈良県	64%	36%		36%		0%	0%	0%	5,342		5,342
和歌山県	80%	20%	12%	4%	0%	7%	0%		2,527		2,527
鳥取県	82%	18%		18%			9%	0%	2,192		2,192
島根県	84%	16%		16%		0%	0%		2,221		2,221
岡山県	98%	0%		0%	0%		0%	2%	947		947
広島県	70%	30%	9%	21%		4%	0%		12,603	0%	12,607
山口県	97%	3%	0%	1%	2%	1%	1%		4,031		4,031
徳島県	74%	26%	1%	26%					2,880		2,880
香川県	92%	8%		0%	8%				328		328
愛媛県	94%	6%		6%	0%	0%	0%		911		911
高知県	90%	10%	8%	1%	1%		1%		8,770		8,770
福岡県	77%	23%	3%	24%	0%	1%	1%		3,707		3,707
佐賀県	43%	57%	56%	1%	0%	0%	1%		1,786		1,786
長崎県	66%	29%	29%	0%	0%	0%	0%	5%	1,765		1,765
熊本県	52%	48%	44%	4%	23%	1%	1%		14,169		14,169
大分県	92%	8%	5%	7%	1%	4%	1%		15,146		15,146
宮崎県	39%	53%	52%	0%	1%		2%	8%	28,593		28,593
鹿児島県	100%	0%	0%	0%	0%				10,633		10,633
沖縄県	96%	0%		0%		0%	0%	4%	6,190		6,190
全国	81%	9%	7%	2%	1%	0%	0%	10%	763,057	29%	1,077,925

*「何らかの変化あり」は、「面積、群落構成ともに著しい変化なし」以外の変化状況を一括したものである。

* 0%と記入されているものは、1%未満(面積0ではない)。

葉県（9件、10%）、山梨県（9件、8%）、岐阜県（9件、8%）、宮城県（9件、6%）の順となった。中部・関東地方の県で多い傾向がみられる。削除群落の分布をみると、東北、関東、近畿～北陸、山陰、九州で比較的集中する地域が見られる。

削除群落の面積の割合でみると、福井県が28%と最も多く、次いで埼玉県（10%）、鳥取県（9%）、岐阜県（3%）、宮崎県（2%）となる。福井県は前述の理由によるもので、埼玉県・鳥取県は全群落数に対する削除件数が多いこと、岐阜県では削除件数が9件と多いことなどが影響している。

3-2. 地方別変化状況

地方別の変化状況をみると、何らかの変化があった特定植物群落の割合が最も多かった地方は関東であった（21%、129件）（表3-5）。また、東北（17%、126件）、近畿（16%、80件）でも変化した群落の割合が多かった。

具体的な変化状況は、東北と九州では「面積に著しい変化あり」が最も多く（9%、69件、6%、55件）、次いで「群落構成に著しい変化あり」となった（4%、33件、4%、35件）。関東、中部、近畿、中国、四国では「群落構成に著しい変化あり」が最も多く（順に10%（60件）、5%（50件）、7%（38件）、6%（39件）、4%（11件））、関東、中部、近畿では次いで「面積に著しい変化あり」（6%、39件、4%、46件、5%、26件）、四国では「個体数に著しい変化あり」が次いで多かった（3%、8件）。中国では「群落構成に著しい変化あり」以外では大きな差はないが、各変化ともに10件以上報告されている。

変化状況を面積別にみると、東北は16,638ha（6%）、関東は5,634ha（11%）、中部は12,745ha（5%）、近畿は2,533ha（11%）、中国は4,690ha（21%）、四国は1,680ha（13%）、九州は25,545ha（31%）で何らかの変化がみられた（表3-6）。

変化状況の内訳の面積をみると、東北、中部、九州では「面積に著しい変化あり」が最も面積が大きく（順に14,760ha（6%）、10,414ha（4%）、23,501ha（29%））、関東、近畿、中国、四国では「群落構成に著しい変化あり」が最も面積が大きかった（順に3,127ha（6%）、2,115ha（9%）、3,426ha（16%）、868ha（7%））。このことから、面積の合計からみても変化した件数の割合の結果と同じである。東北、中部では「群落構成に著しい変化あり」が次いで面積が大きく（2,920ha（1%）、2,193ha（1%））、関東、近畿、中国、四国では「面積に著しい変化あり」が次いで面積が大きかったが（順に、2,352ha（5%）、329ha（1%）、1,164ha（5%）、737ha（6%））、九州では「個体数に著しい変化あり」が2番目に面積が大きかった（3,580ha（4%））。

削除群落は、東北、関東、中部で割合が高かった（4%、27件、6%、37件、4%、48件）。

削除群落の面積は、東北（931ha）と九州（863ha）で大きかった。これは、前項で述べた、削除面積が大きかった宮崎県と宮城県、岩手県の影響を受けているためと思われる。

3-3. 選定基準別変化状況

選定基準別に特定植物群落の変化状況をみると、選定基準G（乱獲のおそれ）が、何らかの変化があった群落の割合が最も多く（22%、112件）、次いで基準B（希少な群落）が19%（120件）、基準C（分布限界）及び基準D（特殊な立地）が18%（106件、210件）、基準H（学術的に重要）が17%（105件）、基準F（過去の植栽）が15%（112件）、基準A（原生林）および基準E

表3-5 地方別特定植物群落の変化状況(件数)

地方	面積、群落構成とも著しい変化なし	何らかの変化あり	面・積・構・成・に・関・する・変・化				削除群落	未記入	調査群落数	未調査群落	群落的件数
			面積に著しい変化あり	群落構成に著しい変化あり	個体数(個体群選定の場合)に著しい変化あり	群落又は個体群の消滅					
北海道											
東北	631	126	69	33	11	23	27	6	6	214	220
関東	467	129	39	60	16	29	37	4	760	1	761
中部	953	140	46	50	23	36	48	7	603		603
近畿	431	80	26	38	7	16	16	9	1,100	1	1,101
中国	576	65	12	39	10	10	16	6	516	101	617
四国	244	25	6	11	8	1	2	8	648	2	650
九州	722	123	55	35	28	22	30	19	269	1	269
合計	4,024	688	253	266	103	137	176	59	4,765	320	5,085

*「何らかの変化あり」は、「面積、群落構成ともに著しい変化なし」以外の変化状況を一括したものである。

(割合)

地方	面積、群落構成とも著しい変化なし	何らかの変化あり	面・積・構・成・に・関・する・変・化				削除群落	未記入	調査群落数	未調査群落	群落的件数
			面積に著しい変化あり	群落構成に著しい変化あり	個体数(個体群選定の場合)に著しい変化あり	群落又は個体群の消滅					
北海道											
東北	83%	17%	9%	4%	1%	3%	4%	100%	6	97%	220
関東	77%	21%	6%	10%	3%	5%	6%	1%	760	0%	761
中部	87%	13%	4%	5%	2%	3%	4%	1%	603		603
近畿	84%	16%	5%	7%	1%	3%	3%	1%	1,100	0%	1,101
中国	89%	10%	2%	6%	2%	2%	2%	1%	516	16%	617
四国	91%	9%	2%	4%	3%	0%	1%	1%	648	0%	650
九州	84%	14%	6%	4%	3%	3%	3%	2%	269	0%	269
合計	84%	14%	5%	6%	2%	3%	4%	1%	4,765	6%	5,085

*「何らかの変化あり」は、「面積、群落構成ともに著しい変化なし」以外の変化状況を一括したものである。

* 0%と記入されているものは、1%未満(件数0ではない)。

表3-6 地方別特定植物群落の変化状況(面積)

単位:ha

地方	面積、群落構成とも著しい変化なし	何らかの変化あり	個体数(個体群落構成に著しい変化あり)				削除群落	未記入	調査群落面積	未調査群落	群落面積
			面積に著しい変化あり	群落構成に著しい変化あり	個体数(個体群落構成に著しい変化あり)	群落又は個体群の消滅					
北海道											
東北	233,176	16,638	14,760	2,920	257	705	931	66,082	66,082	312,843	378,925
関東	42,973	5,634	2,352	3,127	520	489	289	8,548	258,363	908	259,271
中部	237,432	12,745	10,414	2,193	2,055	926	422	481	49,088		49,088
近畿	19,846	2,533	329	2,115	9	169	6	43	250,219	2	250,221
中国	17,283	4,690	1,164	3,426	78	487	238	52	22,431	1,112	23,542
四国	11,210	1,680	737	868	114	1	86	21	21,995	4	21,998
九州	53,784	25,545	23,501	2,458	3,580	636	863	2,660	12,890		12,890
合計	615,704	69,466	53,256	17,107	6,613	3,414	2,834	77,887	763,057	314,868	1,077,925

*「何らかの変化あり」は、「面積、群落構成ともに著しい変化なし」以外の変化状況を一括したものである。

* 0と記入されているものは、1ha未満の面積(面積0ではない)。

(割合)

地方	面積、群落構成とも著しい変化なし	何らかの変化あり	個体数(個体群落構成に著しい変化あり)				削除群落	未記入	調査群落面積	未調査群落	群落面積
			面積に著しい変化あり	群落構成に著しい変化あり	個体数(個体群落構成に著しい変化あり)	群落又は個体群の消滅					
北海道											
東北	90%	6%	6%	1%	0%	0%	0%	100%	66,082	83%	378,925
関東	88%	11%	5%	6%	1%	1%	1%	3%	258,363	0%	259,271
中部	95%	5%	4%	1%	1%	0%	0%	1%	49,088		49,088
近畿	88%	11%	1%	9%	0%	1%	0%	0%	250,219	0%	250,221
中国	79%	21%	5%	16%	0%	2%	1%	0%	22,431	5%	23,542
四国	87%	13%	6%	7%	1%	0%	1%	0%	21,995	0%	21,998
九州	66%	31%	29%	3%	4%	1%	1%	3%	12,890	0%	12,890
合計	81%	9%	7%	2%	1%	0%	0%	10%	763,057	29%	1,077,925

*「何らかの変化あり」は、「面積、群落構成ともに著しい変化なし」以外の変化状況を一括したものである。

* 0%と記入されているものは、1%未満(面積0ではない)。